

平成17年度 公営企業の決算状況報告

■ 平成17年度の給水状況

計画給水人口(人)	91,000
現在給水戸数(戸)	29,116
現在給水人口(人)	77,454
取水能力(m ³ /日)	44,620
年間総配水量A(m ³)	11,910,793
1日最大配水量(m ³)	38,685
1日平均配水量(m ³)	32,632
1人1日平均配水量(ℓ)	421
有収水量B(m ³)	10,263,468
1人1日平均有収水量(ℓ)	363
有収率B/A(%)	86.2

水道事業

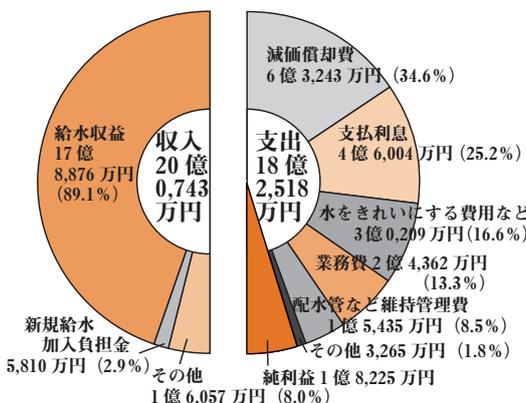
事業概要

平成17年度の主な事業は、上野上水道第8次拡張事業計画に基づき、西山地内での中継ポンプ場および遠方監視設備工事、長田地内での配水管敷設工事などを行いました。

給水区域内配水施設事業は、上野上水道配水管更新事業計画に基づく鑄鉄管敷設替工事を上野忍町・上野伊予町・上野紺屋町など、配水管敷設替工事を阿山上水道エリアは川合地内、伊賀上水道エリアは御代・小杉地内で行いました。

また、緊急時給水拠点確保事業は、川東地内で緊急遮断弁設置工事、高度浄水施設整備事業は、高度浄水施設設置工事を小田浄水場で行いました。

■ 収益的収支の状況(税抜き)



経営状況

平成17年度末における給水戸数は29,116戸、年間総配水量は11,910,793m³でした。

事業収益は20億7,433万5,335円、事業費用は18億2,518万0,671円で収益的収支1億8,225万4,664円の純利益となり、前年度未処理欠損金5,442万7,626円を埋め、平成18年3月31日現在の未処分利益剰余金を1億2,782万7,038円としています。

また、給水量については、節水意識の浸透などにより平成12年度をピークに減少傾向にあります。今後下水道の整備、未普及地域の解消、簡易水道の上水道への統合により、上水道地域の拡大などに伴い給水量の増加が見込まれます。

■ 水道事業の決算(消費税および地方消費税を含む)

(単位:円)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
水道事業収益	2,093,106,025	2,100,872,376		増収額 7,766,351
水道事業費用	1,929,890,025	1,912,529,174	0	不用額 17,360,851
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
資本的収入	427,264,000	386,303,207		減収額 40,960,793
資本的支出	1,313,113,000	1,037,527,449	22,871,100	不用額 252,714,451

【問い合わせ】

水道部水道総務課

☎ 24-9861

製材事業

事業概要

平成17年度の主な事業は、前年度より引き続けている本家1件、車庫1件、補修工事ほか22件を行いました。

なお、製材事業所は昭和25年開設以来50年余にわたり製材事業をしてきましたが、住宅様式の変遷や林業の衰退により、本年3月31日をもって閉鎖しました。皆様のこれまでのご利用に感謝します。

経営状況

景気の低迷や経営環境の変化などにより受託業務量も減少し、事業収益は3,135万6,214円、事業費用は5,987万6,337円で収支差引2,852万0,123円の純損失が生じました。

■ 製材事業の決算(消費税および地方消費税を含む)

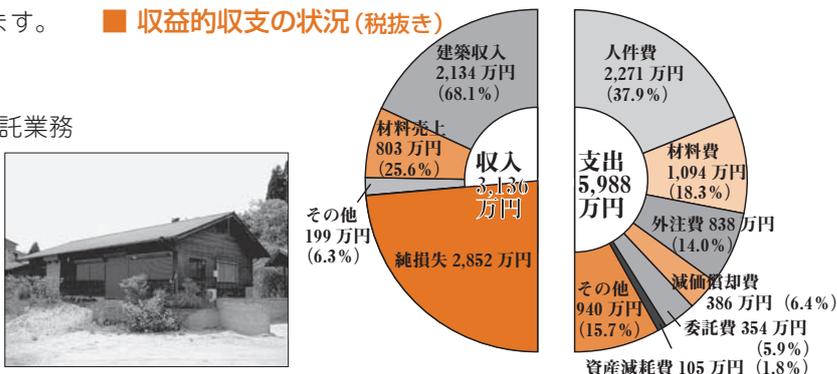
(単位:円)

収益的収支	予算額	決算額	差引
製材事業収益	75,175,000	32,885,492	減収額 42,289,508
製材事業費用	75,055,000	61,405,615	不用額 13,649,385
資本的収支	予算額	決算額	差引
資本的収入	0	0	減収額 0
資本的支出	500,000	0	不用額 500,000

■ 平成17年度の建築状況

区分	件数	建築収益
本家・車庫	2	16,329,550円
改築・修繕・その他	22	6,071,730円
合計	24	22,401,280円

■ 収益的収支の状況(税抜き)



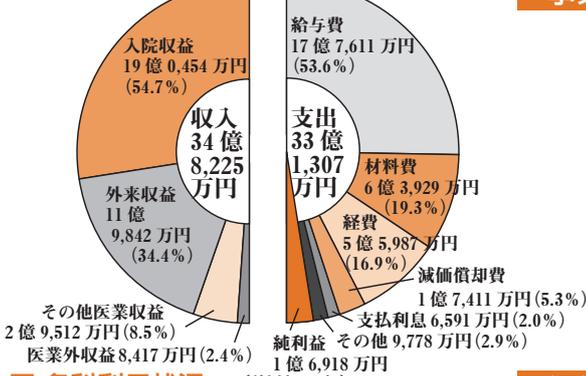
【問い合わせ】

島ヶ原支所総務振興課 ☎ 59-2053



病院事業

■ 収益的収支の状況 (税抜き)



事業概要

病院の経営は引き続き厳しい状況となっておりますが、伊賀市立上野総合市民病院は伊賀地域における公的病院として高度の診療機能を備え、住民の健康保持を図るため病院の理念と基本方針を定め総合的な医療の提供を行い、地域中核病院としての使命達成と、経営の健全化に取り組んでいます。

平成 17 年度は、本館 4 階大規模改造工事などを行い、電動リモートコントロールベッド 100 台、透析患者監視装置 9 台、人工呼吸器、除細動器などの医療機器を購入し、施設の整備に努めました。

経営状況

病院利用状況は、入院患者が延べ 70,072 人 (1 日平均 192 人)、外来患者は延べ 143,481 人 (1 日平均 588 人) となりました。

決算の状況は、事業収益 34 億 8,224 万 6,631 円、事業費用 33 億 1,306 万 5,346 円で 1 億 6,918 万 1,285 円の純利益を生じ、未処理欠損金 (累積赤字) を減らすことができました。

今後も一層の効率的経営を進めるとともに、患者サービスの向上に努め、市民の皆さんから信頼される公立医療機関として、その役割を果たすため努力をしていきます。

■ 病院事業の決算 (消費税および地方消費税を含む)

(単位: 円)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
病院事業収益	3,382,277,000	3,489,903,233		増収額 107,626,233
病院事業費用	3,382,249,000	3,312,275,093	1,575,000	不用額 68,398,907
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
資本的収入	372,911,000	361,610,819		減収額 11,300,181
資本的支出	493,139,000	476,480,811	9,757,650	不用額 6,900,539

【問い合わせ】 上野総合市民病院庶務課 ☎ 24-1111

伊賀下水道事業

事業概要

特定環境保全公共下水道事業として、平成 17 年度は西部処理区終末処理場第 2 期工事 (水処理槽増設工事) を行いました。

希望ヶ丘処理区は、平成 19 年度の供用開始をめざして事業を進めており、本年度は終末処理場建設工事 (土木・建築工事)、実施設計業務、用地造成工事、管渠基本設計業務などを行いました。農業集落排水事業とともに継続して水洗化の啓発・促進に取り組んでいます。

経営状況

水洗化の状況は、西部処理区が供用開始後 2 年目となり水洗化人口、水洗化率ともに増えています。

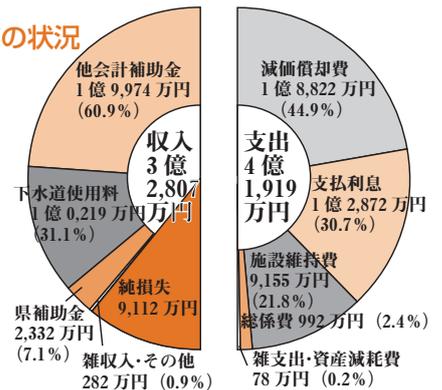
決算状況について、事業収益は 3 億 2,807 万 2,566 円、事業費用は 4 億 1,918 万 9,932 円で、収支差引 9,111 万 7,366 円の純損失を生じ前年度繰越欠損金と合わせ 2 億 5,571 万 6,174 円の未処理欠損金として翌年度へ繰り越すことになりました。

今後の下水道事業は引き続き財政面で非常に厳しい状況が予測されます。維持管理費など諸経費の削減、見直しを図り、健全な経営に努めてまいります。

■ 平成 17 年度の業務状況

区分	17 年度	16 年度	比較増減
行政区域内人口 (A) (人)	10,648	10,752	△ 104
供用開始区域内人口 (B) (人)	8,618	8,706	△ 88
水洗化人口 (C) (人)	5,310	4,796	514
普及率 (B/A) (%)	80.9	81.0	△ 0.1
水洗化率 (C/B) (%)	61.6	55.1	6.5
計画処理区域面積 (D) (ha)	379.3	379.3	0.0
処理区域面積 (E) (ha)	308.7	308.7	0.0
整備率 (E/D) (%)	81.4	81.4	0.0
排水戸数	1,739	1,562	177
一般家庭 (戸)	1,590	1,433	157
事業所 (戸)	85	65	20
公共施設 (戸)	64	64	0

■ 収益的収支の状況 (税抜き)



■ 伊賀下水道事業の決算 (消費税および地方消費税を含む)

(単位: 円)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
下水道事業収益	335,161,000	337,624,421		増収額 2,463,421
下水道事業費用	430,012,000	423,734,734		不用額 6,277,266
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
資本的収入	808,108,000	558,605,525	253,200,000	増収額 3,697,525
資本的支出	962,943,000	696,899,904	265,400,000	不用額 643,096

【問い合わせ】

伊賀支所下水道室 ☎ 45-9109